

北海道遺産
Hokkaido Heritage

北海道遺産・北見市指定文化財

ピアソン記念館

第117号
(隔月刊)

発行：2024. 7.31

(令和6年 7月31日)

発行人：中山 一夫 (理事長) 編集人：伊藤 悟 (副理事長)

NPO 法人ピアソン会事務局

(事務局長 伊藤 悟)

〒090-0036

北見市幸町7丁目4番28号

Tel. FAX 0157-31-1215

ピアソン記念館内

午前9:30～午後4:30

e-mail アドレス

pierson@yacht.ocn.ne.jp

エリザベス市・北見市姉妹都市提携55周年記念 エリザベス市からの訪問団を迎えて！

NPO 法人ピアソン会

理事長 中山 一夫

エリザベス市からは、市民の出身地の国旗(40ヶ国)や両市の市

章を縫い合わせた大型キルトが寄贈されました。その中でも、北見市とエリザベス市の「絆」が、さらに強められた訪問でし

北見市とエリザベス市との姉妹都市提携五十五年記念訪問団として、7月16日から7月21日まで、エリザベス市の保健福祉部長のクリシュナ・ガーリック氏、商工会議所会頭のジェニファー・コスタ氏ら4人が来北しました

7月18日には、午前中にピアソン記念館に来訪いただきました。二階のゲストルームにて短

時間でしたが、ピアソン会理事長、吉田邦子顧問、長南幸子ピアソン会ハープ部会長、森下真裕美牧師(ピアソン会監査)と懇談をいたしました。接待は、ハープ部会のメンバーで行われました。

ピアソン邸は、建てられてから今年で百十年が経ち、ピアソン夫妻について、資料を収集したり、調査研究をしたものを展示していることを話したりしました。エリザベス市の方では、ピアソン記念館についての展示コーナーを作成したいので、その英語版の資料を送って欲しいとのことでした。ピアソン記念

館のエコパックを記念品として渡しました。

7月18日の夕方、18時30分からは、姉妹都市提携五十五周年を祝う記念式典・祝賀会が北見プラザホテルで開かれ、43名が交流を深めました。ピアソン会からは、理事長とハープ部会の増井五夜子さんが参加しました。

式典では、辻直孝市長の歓迎の挨拶があり、エリザベス市のクリシュナ・ガーリック保健福祉部長の訪問団の代表としての挨拶があり、いずれも互いに交流を続けることの大切さを表明しました。

記念品の交換では、北見市は、提携五十周年の時に撮影された両市長の記念写真を木製のレーザー彫刻写真にして贈呈し、エ



【写真】ピアソン記念館の2階ゲストルームでの接待後、エリザベス市訪問団との記念撮影。前列左端よりマリー・L・コスタ(ジェニファー・コスタ会頭のお母様)、小林清美(※)、吉田顧問、クリシュナ・ガーリック、増井五夜子(※)、河田理事、中山理事長、長南幸子(※)、ジェニファー・コスタ(エリザベス市商工会議所会頭)、後列左より森下真裕美(牧師)ピアソン会監査役、マウリッサ・ストーン(クリシュナ・ガーリック部長の同僚・友人)。

エリザベス市訪問団歓迎

第26回グリーンコンサート!

7月20日土曜日午後1半、姉妹都市エリザベス市訪問団歓迎の恒例行事「グリーンコンサート」を開催しました。

辻北見市長歓迎の挨拶の後、訪問団に人気のある可愛らしい小学生、北見市立中央小学校ブラスバンド部の演奏「ハイホー」で演奏会の幕を開けました。5年前の姉妹都市提携50周年記念の歓迎コンサートでは、「あんな小さい子たちが、大きな楽器を演奏するなんて!」と驚いていま



北見市立中央小学校ブラスバンド部



演奏を見つめる訪問団と市民の皆さん

したが、今回も目を細めて聞き入っていました。3曲の演奏を終えると、大きな拍手で演奏を讃えていました。今回も訪問団のハートを射止めたようです。

2番目の演奏は、北見工業大学&日本赤十字北海道看護大学吹奏楽部の演奏。

北見工大はエリザベス市のキーン大学との交流を互いに検討している事もあり、訪問団は興味深くその演奏を鑑賞していました。

また、北見赤十字病院とエリザベス市のトリニスタ病院との交流も一部実現して



北見工業大学&日本赤十字北海道看護大学吹奏楽部

おり、看護大学への興味もことさらのようでした。

2曲の演奏、最初はコンサートマーチ『アルセナル』、次に『オーメンズ・オブ・ラブ』。軽快なテンポで、会場から手拍子もありました。

3番目の演奏団体は、北見市立北中学校吹奏楽部。曲の説明や演奏内容については、中学生自身が日本語と英語で説明してくれましたので、訪問団も大きく頷いて説明を聞いていました。



北見市立北中学校吹奏楽部の演奏風景

演奏曲は4曲、①勇気の旗を掲げて、②アイドル〜フライングゲット、③ドラえもん、④イントゥ・ジ・アンノウン。ドラえもん

の演奏では、日本の有名なアニメと解ったようで、手拍子を叩いて、②アイドル〜フライングゲット、③ドラえもん、④イントゥ・ジ・アンノウン。ドラえもん

当日は、北見では珍しい程の蒸し暑い日でしたが、三柏の森に守られた木陰での演奏会は、途中雨の



心配もありましたが、順調に進行して行きました。

4 番目の演奏団体は、社会人の北見吹奏楽団。最初の曲は、①ワシントンポスト。②ウィー・アー・ザ・ワールド、③銀河鉄道999。今回のこのコンサートでは、大型楽器共同使用の役割を担っていただき、各団体は北見吹奏楽団のものを使用させてもらいました。大変助かったと思います。ありがとうございました。また、小学生や中学生の演奏の椅子などのセッティングの時も協力をいただき、演奏会もスムーズに進行することができました。大変力強かったです。

最後の演奏は、北見交響吹奏楽団(KSB)。ご承知のように、この演奏団



体は、北見市とエリザベス市姉妹都市提携の頃に設立された団体です。1976年には、エリザベス市の音楽ホールで演奏会を実施しています。エリザベス市からの訪問団が来訪する際には、欠かすことのできない団体でもあります。

演奏曲は、①まつり、②東京ブリギウギ、と日本の曲を演奏後、この演奏会の幕を閉じる最後の曲として、③星条旗よ永遠なれ、を披露しました。約一時間半の歓迎コンサートは無事に終了することができました。途中、『もし強い雨



が降り始めたら、どのように訪問団と観客団を誘導避難するか』などを分析しながら、避難用の車をスタンバイさせるなど、神経を使う天候でもありました。

最後に、エリザベス市の訪問団を代表して、クリシュナ・ガリックエリザベス市保健福祉部長(日本の制度とは違い、薬学などの専門資格取得者の特別職)の、「お礼の言葉」がありました。

「このグリーンコンサートとは両市交流にとって特別で重要なコンサートとと思っています」と、更に「今後も永く続くよう」と結びました。ピアソン夫妻の肖像写真が見守る中での姉妹都市提携55周年記念歓迎コンサートは無事終了しました。



【最上段右写真】【上段右写真】北見吹奏楽団の演奏の様子。【左中段写真】北見交響吹奏楽団(KSB)の演奏。KSBは48年前の1976年にエリザベス市への訪問団として参加し、音楽劇場にて演奏会を実施した団体。【右中段写真】お礼を述べるガリックさん。【下段右写真】終了後、訪問団を交えての記念撮影。

ヴォーリス建築文化全国ネットワークNON4年度全国大会報告

VOの法人ピアソン会 副理事長 伊藤 悟

今年の全国大会は、6月29日（土曜日）・30日（日曜日）の2日間、兵庫県西宮市にある関西学院大学聖和キャンパスを中心に実施されました。

この聖和キャンパスは、元々は1880年創立の組合派神戸伝道女学校、1888年創立メソジスト派ラッパス記念伝道女学校、1895年創設広島女学校師範科の三校が源流。1950年の学制改革により聖和女子短期大学、1964年に聖和女子大学を開設。1973年、幼児教育学専攻としては全国初の大学院を開設。

学校法人関西学院とは同じメソジスト派の学校を源流に持ち、関西学院大学の西宮上ヶ原キャンパスが地理的にも近く、創立者の一人であるメアリー・イザベラ・ランパスが関西学院の創立者であるウォルター・ラッセル・ランパスの母親であることから、姉妹校の関係でした。2006年、聖和大学、関西学院の双方の学長・理事長会見で、両学校法人の合併協議を開始、合併後は学校法人関西学院を存続法人として資産を移し、2008年に学校法人聖和大学は解散することに決まり、現在は教育学部や幼稚園、短期大学が立地。この中で会場となった4号館（タッドレーチャペル）や図書館など、ヴォーリス建築が残されています。このキャンパスの門を隔てて隣接地には、神戸



聖和キャンパスの案内マップ

女学院（ヴォーリス建築12棟が「重要文化財・神戸女学院」の名称で一括して重要文化財に指定）があり、関西学院大学の上ヶ原キャンパスを含み、まさにこの地域は「西宮ヴォーリス・ヒルズ」と命名（㊦VNW）され、今回の全国大会は、この3つのキャンパスを中心としての開催となりました。

㊦VNWは、「ヴォーリス建築文化全国ネットワーク」の団体名の略称。

大会当日、1万2000歩歩く

当日の朝、関西学院大学上ヶ原キャンパスの博物館で開催されている「ヴォーリス建築写真展」を鑑賞してかざらと思ひ、甲子園駅から博物館へと向かい、16年振りに懐かしい時計台塔を目にしました。当時は図書館として使



用していましたが、現在は博物館。入り口には、写真展の案内ポスターが表示されていました。そのポスターにはピアソン記念館が「写真展」のメインの写真として使用されており、『ピアソン記念館の知名度も一気に上がったのかな?』と。

写真展の鑑賞後、聖和キャンパスまで、すれ違う人に尋ね尋ね歩いていきました。20分ほど歩くと、上記図の聖和キャンパスに何とか辿り着き（蒸し暑さも水も飲み飲み...）ました。ちょうど、総会開催の午前中にプロ



キャンパスとキャンパスを繋ぐゲート

グラムされた、「神戸女学院キャンパス散策」のグループが、田淵結VNW事務局長（現神戸女学院監事）の案内で、神戸女学院キャンパスへ向かうところでしたので、私もそのグループに参加させていただきました。

神戸女学院へも16年ぶりの訪問となります。キャンパスとキャンパスを繋ぐゲートを通り、グラウンドでホッケーの練習する女学生の声を聞きながら講堂（VNWの第2回全国大会会場）の前で、重要文化財の建物の説明を受けました。第2回大会で宿泊させていただいた、ケンウッド館（重要文化財）に現在は宿泊できないとのことでした。講堂の中を案内していただき、ソ



散策参加者に資料を配布する田淵VNW事務局長

ル・チャペルの厳かな雰囲気に触れ、図書館へと案内されました。

図書館では、この神戸女学院で使用されていたドアの取っ手などの展示があったので、ピアソン記念館の取っ手との比較のために写真を撮り、撮影お

時代を感じるドアの取っ手



入れてきました。

散策も終わり。昼には聖和キャンパスで幹事会が行われ、午後1時からの総会を迎えます。今年も総会の議長を務めることになり、総会の様子の写真撮影は残念ながらできませんでした。

総会は何事もなく無事に終了し、総会後予定の講演は14時から開催。今回は「ヴォーリスの教育設計」と題して、関西学院大学建築学部准教授・ヴォーリス研究センター研究員である谷口真紀氏による講演でした。



参加者会員（総会前）

講演内容について詳しく書くことはできませんが、このVNWという集ま



ズ建築を散策し、山形政昭幹事。石田忠範幹事の解説を受けました。私は、ヴォーリズ建築では窓がその建物に対する大きな役割と特徴を生んでいると思う(ピアノン記念館も同様)ているのですが、このキャンパスの図書館も、絶妙な雰囲気窓がたたくさんありました。

夜の懇親会は、関西学院大学上ヶ原キャンパスの学生会館で開催されました。この懇親会では、永年VNWで活動された石田忠範幹事へ記念品の贈呈がありました。永年ご苦労様でした。



りの中で、ヴォーリズの設計を教育理念での視点から語られる方は少ない事もあり、素晴らしく新鮮で「なるほど、そうだったのか」と頷ける点がたくさんあり、ヴォーリズ建物設計哲学が人間教育という面に深く関わっていることがわかり、気持ちがすっきりとした

講演の内容でした。次に15時から、プレゼンテーションおよび見学会。「西宮市ヴォーリズ・ビルズとは」、この地域一帯を『Vories Hills』と命名した説明がなされました。その後、聖和キャンパスのヴォーリ



記念品を受け取る石田夫妻

紙面の関係でこの高崎記念館の歴史や建物について詳しく述べられませんが、ホームページを見ていただけたらと思います。 <https://takasaki.com> 館内には、ヴォーリズの他の建築作品を紹介する模型の展示コーナーなどもあり、多くのヴォーリズ建築に触れる事もできます。有意義な全国大会でした。



東洋食品研究所伊福部長より説明を受ける



(有) 景観模型工房製作各種ヴォーリズ建築展示

第41回文化サロンdeピアノン
懐かしのピアノン記念館
「思い出コンサート」報告
ピアノン会理事 玉置 義弘

6月22日土曜日午後5時から、第41回文化サロンdeピアノン「懐かしのピアノン記念館」思い出コンサート」と題して、旭川市在住の鹿野誠一さんを招いてギターコンサートを開催しました。



員を40名に増やして行いましたが、予約受付開始後すぐに満席になる盛況で、演奏はフレスコバルディの「アリアと変奏」から始まり、ピアノン夫妻に敬意を込めて賛美歌「いつくしみ深き」、よく知られた「愛のロマンス」や「アルハンブラの思い出」などのギターの名曲他、スペインや南米の曲を演奏。途中、幼少期に暮らしたピアノン館の様子などの話を交えながら、いつもよりは少し長い時間のコンサートとなりましたが、来場者は貴重な話も聞ける時となりました。また今回のコンサートをコーディネートしてくれた、北見市でギター教室を主催している森元裕太さんが賛助出演し、独奏の他、鹿野さんと二重奏をしました。

演奏者の鹿野さんは、現ピアノン記念館が児童相談所として使われた時代に、相談所の職員として住み込みで働いていたお母さんと一緒に、幼児期から中央小学校入学までの数年間をピアノン記念館で暮らされた方です。その後、本人も福祉関係の仕事に付く傍ら、中学生時代に始めたギターを、50歳の時に本格的に再開。シニアギターコンクール2位。日本ギター連盟主催ギターコンペティション金賞、旭川市新人音楽賞の受賞歴に加え、病院や福祉施設でのボランティア演奏なども積極的に行ってきました。当日はコロナ禍後、初めて会場の定



【写真】終了後拍手を受ける奏者の二人

「ニュージーランドからの便り」第46回



ピアソン会顧問 グラハム・ハード氏

2024・5・31 (金)

◆こんなに朝早くからESSの皆さんが北見駅でのお見送り、ありがとうございます。札幌へ、安心のうちに心地よい旅ができました。北見ではお心遣いをいただき、素晴らしい時を過ごしました。ピアソン会の方々のおもてなしに対しても感謝をお伝えくださいますようお願い致します。皆さんがご健康で、またの機会がありますように。感謝とともにごきげんよう。

グラハム・ハード

2024・6・1 (土)

札幌に到着

◆ご返信ありがとうございます。札幌も良い天候になっています。昨日、北見駅で写した写真を送ります。感謝しつつ

グラハム・ハード

2024・6・18 (火)

誕生日メッセージ感謝



◆昨日は、大学の同僚のご馳走に与かりました。その日が私の誕生日だなんて、誰も知らなかったものですから、皆が驚いて、また喜んでくれました。◆先日、中島公園へ行きました。お祭りの雰囲気も楽しめました。木曜日にニュージーランドへ向かいますので、準備も進んでいます。札幌もまた楽しかったです。◆皆さんのおかげです。お元気で。

2024・6・23 (日)

◆来月、エリザベスからの訪問団をお迎えすることは、皆さんにもピアソン会の方々にもエキサイティングですね。来北の成
【写真左】 たわわに実ったマンダリンの果。

◆昨日は、大学の同僚のご馳走に与かりました。その日が私の誕生日だなんて、誰も知らなかったものですから、皆が驚いて、また喜んでくれました。◆先日、中島公園へ行きました。お祭りの雰囲気も楽しめました。木曜日にニュージーランドへ向かいますので、準備も進んでいます。札幌もまた楽しかったです。◆皆さんのおかげです。お元気で。

果はまちがいなくあります。◆ニュージーランドへの帰路はまったく順調でした。長時間の夜間飛行の疲れも、今はほとんど回復しました。オークランド空港で出迎える弟マレーイに会い、うれしかったです。弟の家では姉のジュディにも会いました。ファンガポアアの自宅へは、マレーイのカーポートに置いてあった自分の車で帰りました。◆家では全てが元どおりです。庭のマンダリン（中国原産のみかん・写真）の樹にはたくさんの実がついています。今、いくつか食べたところで、美味しいです。◆北見の皆さん方、夏の気温上昇の中で、お変わりなく過ごされますように。感謝をもってグラハム・ハード

第42回文化サロン de ピアソン

ボタニカルキャンドル作り



- ◎ 開催日時: 2024年9月23日(月) 午前の部(10時~12時 8名)・午後の部(13時~15時 7名)
- ◎ 開催場所 : ピアソン記念館2階
- ◎ 講師 : 増井五夜子氏ほかピアソンハーブ部会員
- ◎ 予約チケット: 材料費として1,800円。(9月1日よりピアソン会にて予約受付、電話可)。
- ◎ 問い合わせ : NPO 法人ピアソン会 (電話 0157-31-1215) ピアソン記念館 ☎ 23-2546

編集後記

今年の一大イベント、「北見市・エリザベス市姉妹都市提携55周年記念事業」に於けるエリザベス市からの訪問団受け入れ行事が無事終了しました。全国的な酷暑の各種行事でしたが、健康面での心配もありましたが、会員の協力何とかが役目を果たすことができました。ヴォーリス建築に関わる人々と団体で組織されたVNW(ヴォーリス建築文化全国ネットワーク)の総会が、6月29日(土)・30(日)と、大阪の関西学院西宮聖和キャンパスで開催され、参加報告を掲載しました。9月には、この関係で関西学院大学建築学部ヴォーリス研究センター長の角野教授と谷口准教授がピアソン記念館に来館予定です。楽しみです。クラシックギターコンサートも素晴らしい演奏で好評でした。加えて奏者の鹿野さんは幼少の頃、このピアソン館(当時は児童相談所)に母親と住んでいたの、その思い出話もたくさんして下さいました。貴重な記録となりました。パソコンも夏バテなのか、外付けのSSDが原因不明で読み取れなくなり、札幌でピアソン便り編集予定でデータを持って行っていたのですが、全部読み取れなくなりダウン。発行が遅れました!

(副理事長兼事務局長) 伊藤 悟

瞳ふぁっしゅん・瞳けあ

めがねのよっしー

代表 岩井 敏 忠

〒090-0043 北海道北見市北3条西3丁目

携帯 . 090-2693-1919 TEL . 0157-57-3664

定休日/毎週木曜日・営業時間/10時~19時